

R I M A G E[®]

Rimage Producer[™] V ユーザー ガイド

8300N/8300



Rimage Corporation

201 General Mills Blvd, Golden
Valley, MN 55427, USA

フリーダイヤル: +1-(800) 445-8288

Rimage Europe GmbH

Albert-Einstein-Straße 26
63128 Dietzenbach, GERMANY

電話: +49 (0)6074.8521.0

Rimage Japan Co., Ltd.

4F Arai #38 Bldg., 2-7-1 Hamamatsu-
cho, Minato-ku, Tokyo 105-0013,

JAPAN

電話: +81-(3) 6452-8780

Rimage Taiwan

2F.-7, No. 508, Sec. 5,
Zhongxiao East Road., Xinyi Dist.,
Taipei City 110, TAIWAN

電話: +886-(2) 2726-0100

**Rimage Information
Technology (Shanghai)
Co., Ltd.**

RM # 206, 207, 2F
No.1 FuXing Zhong Road
HuangPu District
Shanghai, 200025 CHINA

電話: +86.021.5887.8905

Rimage Corporation は、本書に記載されている機器およびソフトウェアを予告なしに改訂する権利を所有しています。Rimage Corporation は、あらゆる個人または組織に通知する義務なく、本書を改訂または記載内容を随時改訂する権利を所有します。

本書には、発行時に有効であった Web サイトへのリンクが含まれていますが、現在そのサイトが移動している、または無効である場合もあります。本書には、第三者によって所有および運営されているインターネット上のサイトへのリンクが記載されている場合もあります。Rimage Corporation は、第三者のサイトの内容に関しては、責任を負いかねます。

© 2020, Rimage Corporation

Rimage® および Everest® は Rimage Corporation の登録商標です。Rimage Producer™、Prism™ および Encore™ は Rimage Corporation の商標です。Windows® は Microsoft Corporation の登録商標です。

他のすべての商標および登録商標は、それぞれの所有者の財産です。

本ドキュメントの最新版は www.rimage.com/support から入手できます。

目次

取扱説明書 1

本ユーザーガイドについて 1

Producer V System について 1

開梱およびセットアップ取扱説明書 1

重要な情報 2

サポート連絡先 2

オンラインでご覧いただける詳細情報 2

テクニカル サポート 2

光ディスク記録ソフトウェアの免責条項 3

安全性および法令順守に関する情報 3

安全のための予防措置 3

国特有の注意と警告 3

コンプライアンス情報 4

Producer V System の部品の確認 5

正面図 5

Everest® Encore Printer の背面図 6

Prism™ Printer の背面図 7

部品情報 8

DiscWatch™ 状態表示ランプ 8

ディスプレイパネル 8

システム ボタン 8

ディスク ディスペンサ 8

警報器 8

Producer V System の操作 9

回転トレイの設置 9

回転トレイの取り外し 9

Producer V System の電源オン 10

Producer V System の電源オフ 10

Producer V System の一時停止 10

ディスクの装着 11

ディスクの取り外し 11

印刷環境設定 11

Producer V System のメンテナンス 12

概要 12

注意事項 12

予防メンテナンス スケジュール 12

診断テスト 12

Gemini ユーティリティの操作 13

Gemini ユーティリティの開始 13

オートローダの表示名の変更 13

警報器を有効にする 13

取扱説明書

本マニュアルは、Rimage Producer 8300N と 8300 の操作および設定、メンテナンスに必要な事項を説明しています。本マニュアルで、「システム」および「オートローダー」という語は Producer 製品を意味しています。プリンタという用語は、Everest Encore または Prism III プリンタを指します。

Producer システムに固有の情報については、『Rimage Producer V User Guide (Rimage Producer V ユーザーガイド)』(www.rimage.com/support) を参照してください。

重要! お使いの Rimage システムは、本ユーザーガイドに記載されたモデルとは外観が異なる場合があります。

本ユーザー ガイドについて

- 当社ではすべてのバージョンのマニュアルおよび説明書を保存するように努めていますが、当社ウェブサイトで閲覧できる英語バージョンでは常に最新の情報を提供しています。
- 特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 10 のパスを示しています。Windows 7 以外の Windows オペレーティング システムのナビゲーションは多少異なる場合があります。
- 本マニュアルでは、情報のタイプに応じて以下の記号が使用されています。

注記:「注記」には補足情報や特殊な事例に限定して適用できる情報が提供されます。たとえば、特定のバージョンのプログラムに適用するようなメモリ制限や機器の設定、詳細情報は「注記」に記載されません。

ヒント:「ヒント」には、明らかではない代替方法が提案され、製品の利点と能力についての理解を助けます。

重要!

- 「重要!」には、タスクの完了に欠かせない情報が提供されます。
- 重要な追加情報。
- 「ヒント」の情報を読まなくてもタスクを完了できますが、「重要!」の記載は必ず読むようにしてください。

カ 注意:「注意」には、このガイドラインの順守を怠ると、機器または製品、ソフトウェア、データに損失または損傷が生じる恐れがある注意事項が示されます。

カ 警告!「警告!」は、記載されたガイドラインの順守を怠る場合、機器の操作または保守の担当者に身体的傷害が生じる恐れがあることを示します。

Producer V System について

Producer V システムは、Everest® Encore プリンタまたは Prism III™ プリンタのどちらでもご利用できます。プリンタの詳細については、プリンタに同梱されている『セットアップおよびインストール ガイド』または『ユーザー ガイド』を参照してください。

Producer 8300N オートローダーには、コントロール センター (PC) が内蔵されています。内蔵 PC は、ネットワーク対応デバイスで、ネットワークに接続された他のコンピュータからオーダーを受信できます。Producer 8300N は、モニタおよびマウス、キーボードを接続するとローカルでも操作可能です。

Producer 8300 には、外部のコントロール センターとして使用する外付け PC が必要です。ほとんどの場合、Producer 8300 オートローダーには外付け PC が標準装備されていません。外部のコントロール センターとして使用する PC を準備することが必要です。8300 で使用する PC の最低要件および最適要件については、Producer の仕様を参照してください。本製品に関する技術的仕様は、www.rimage.com/support を参照してください。

開梱およびセットアップ取扱説明書

Producer V システムを開梱するには、梱包箱に貼付の開梱法についてのラベルを参照してください。設定の指示については、製品に同梱されている『セットアップおよびインストール ガイド』を参照してください。

重要な情報

本セクションでは、Producer V システムに関し、サポートのための問い合わせ先および注意や警告、製品仕様について説明します。

本製品に関する技術的仕様は、www.rimage.com/support を参照してください。

サポート連絡先

| 米国、カナダ、南米 | |
|--|--|
| Rimage Corporation 201 General Mills Blvd, Golden Valley, MN 55427, USA Attn: Rimage Services | 電子メール: support@rimage.com 電話: 北米: 800.553.8312 メキシコ/中南米: 952.946.0004 option 2 ファックス: 952.944.7808 |
| ヨーロッパ | |
| Rimage Europe GmbH Albert-Einstein-Straße 26 63128 Dietzenbach, GERMANY | 電子メール: support@rimage.de 電話: +49 (0)6074.8521.0 ファックス: +49 (0)6074.8521.100 |
| アジア/太平洋 | |
| Rimage Japan Co., Ltd. 4F Arai #38 Bldg., 2-7-1 Hamamatsu-cho, Minato-ku, Tokyo 105-0013, JAPAN | 電子メール: servicejapan@rimage.co.jp 電話: +81.3.6452.8780 ファックス: +81.3.6452.8785 |
| Rimage Taiwan 2F.-7, No. 508, Sec. 5 Zhongxiao East Rd., Xinyi Dist., Taipei City 110, TAIWAN | 電子メール: support@rimage.com 電話: +886.2.2726.0100 |
| Rimage China RM # 206, 207, 2F No.1 FuXing Zhong Road HuangPu District Shanghai, 200025 CHINA | 電子メール: medical.sales@rimage.cn enterprise.sales@rimage.cn 電話: +86.021.5887.8905 |

| Rimage Services 連絡先: | |
|---|--|
| ウェブサイト: www.rimage.com/support を参照してください。 | |
| Rimage サービスにお問い合わせになる際は、以下の情報をご用意ください。 <ul style="list-style-type: none">システムのシリアル番号とソフトウェアのバージョンエラーの機能的および技術的説明表示された正確なエラーメッセージ | 今後必要な場合に備えて、ご使用の Rimage 製品について次の情報をお控えください。 <hr/> 注記: 製品を交換した場合は、必ずシリアル番号を更新してください。 <hr/> シリアル番号: <hr/> 製品名: <hr/> ご購入日: |

オンラインでご覧いただける詳細情報

www.rimage.com/support で、Rimage の世界でトップレベルのサポートとサービスを受けることができます。オンラインでご利用いただける項目:

- ソフトウェアおよびファームウェアの最新情報
- 製品仕様
- 最新ドキュメント
- 最新のファームウェアのダウンロード

テクニカル サポート

Rimage では、迅速な交換サービス、ソフトウェア サブスクリプションおよびサポートなど、様々な Producer V システムに関するサービスおよ

重要な情報

びサポート オプションを提供しています。詳細情報および価格については、Rimage の付加価値再販業者や Rimage 社までお尋ねください。

光ディスク記録ソフトウェアの免責条項

本製品、ソフトウェアおよび説明書は、著作権の所有者もしくは著作権者から書面によるコピーの許可を受けている場合、複製することができます。使用者が著作権を所有する、もしくは、著作権者から複写の許可を取得していない限り、使用者には、著作権法違反ならびに損害賠償および他の賠償の支払いが課せられる恐れがあります。ご自身の権利に関して不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。使用者が著作権を所有せず、また著作権所有者からの許可も得ていない場合、光ディスク、その他のメディア上の著作権のあるマテリアルを無断で複製することは国内および国際上の法令を侵害することになり、厳しい処罰が科せられることとなります。

安全性および法令順守に関する情報

本マニュアルおよび製品に関する指示により、適切で安全な操作が可能になります。以下の表示マークは、ユーザーならびに他の人の身体的傷害および機器損傷の防止を支援します。

安全のための予防措置

安全の確保のため、以下の注意事項をよくお読みになり、内容をご理解された上で機器をご使用ください。

力 警告!

- CD/DVD レコーダーのレーザー ビームには、クラス 1 レーザーが使用されています。レコーダーを開けないでください。すべてのサービス処置は、担当の技術者が行うようにしてください。
- 本書に規定されている以外の方法で、制御または調整機能を使用したり、処置を実施したりすると、有害な放射露光が生じる恐れがあります。
- 本機と光学機器を併用しないでください。併用すると、目を損傷する危険性が大幅に増加します。

力 注意:

- 火災の危険に対する継続的な保護のために、交換するヒューズは、同一の種類および定格のものだけにしてください。すべてのサービス処置は、担当の技術者が行うようにしてください。
- 同梱の交流電源コードのみ、または、標準規格の電源コードをご使用ください。北米以外でご利用になる場合、各地域の標準規格電源コードの選択においてサポートが必要な場合は、最寄の Rimage にお問い合わせください。
- 本製品はオフィス用機器として設計されています。
- Producer 8300N はリチウム電池を内蔵しています。リチウム電池を不適当な電池と交換すると爆発する危険があります。古い電池は電池のパッケージに記載された製造業者の指示に従って廃棄してください。

国特有の注意と警告

力 警告!

- **Taiwan:** 警告使用者:
此為甲類資訊技術設備，於居住環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在此種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。
- **Korea:** 사용자 안내문 :
이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

※ 사용자 안내문은 “업무용 방송통신기자재” 에만 적용한다.

重要な情報

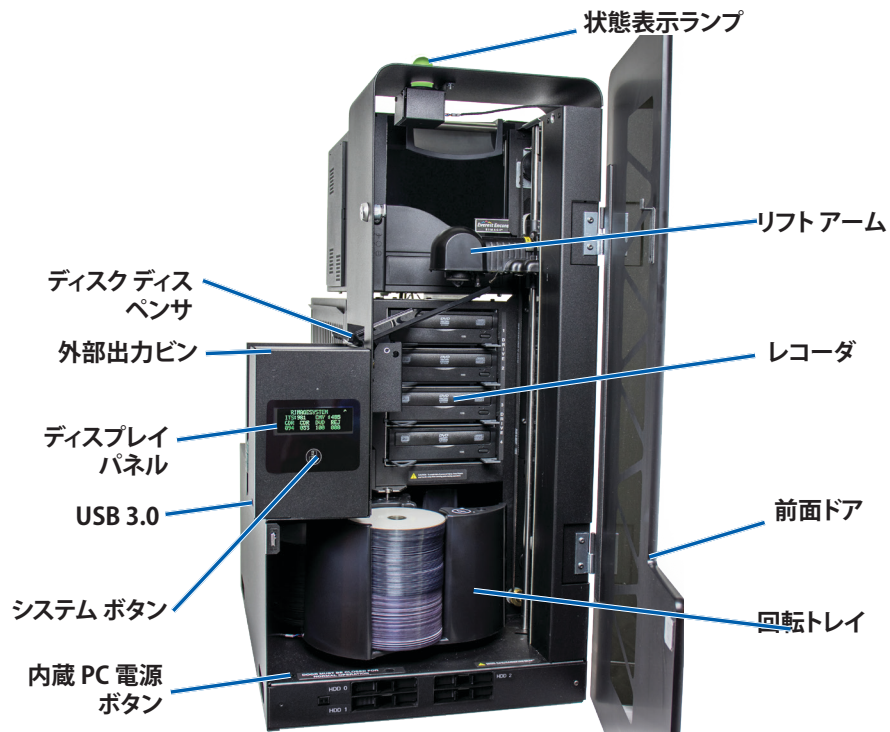
コンプライアンス情報

| 製品 | Producer 製品 | モデル |
|---------------|--|--------|
| | Producer 8300 | RAS35 |
| | Producer 8300N | RAS35E |
| 米国における注意 | NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when this equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense. This product complies with UL 60950-1, 2nd Edition. | |
| カナダにおける注意 | This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003 Issue 5:2012. Cet appareil numerique de la classe A est conforme a la norme NMB-003 du Canada. This product complies with CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1-07, 2nd Edition. | |
| ヨーロッパにおける注意 | This product is in conformity with the EMC Directive 2014/30/EU and the Low-Voltage Directive 2014/35/EU through compliance with the following European Standards: EN55032:2012/AC:2013 Class A Limit; EN55024:2010; EN61000-3-2:2014; EN61000-3-3:2013; EN60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011+A2:2013. The CE mark has been affixed in accordance with the CE Marking Directive 93/68/EEC. | |
| 日本における注意 | This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio interference may occur, in which case, the user may be required to take corrective action. Translation: この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 | |
| オーストラリアにおける注意 | This product complies with AS/NZS CISPR32:2015. | |
| 韓国における注意 | It is certified that foregoing equipment has been certificated under the Framework Act on Telecommunications and Radio Waves Act. 위 기기는 전기통신기본법, 전파법 에 따라 인증되었음을 증명 합니다. | |
| 台湾における注意 | This is class A digital device. It may cause radio-frequency interference when used in a residential area. In this case, the users are advised to take appropriate precautions. Translation: 這是甲類的資訊產品,在居住的環境中使用時,可能會造成射頻干擾,在這種情況下,使用者會被要求採取某些適當的對策。 | |

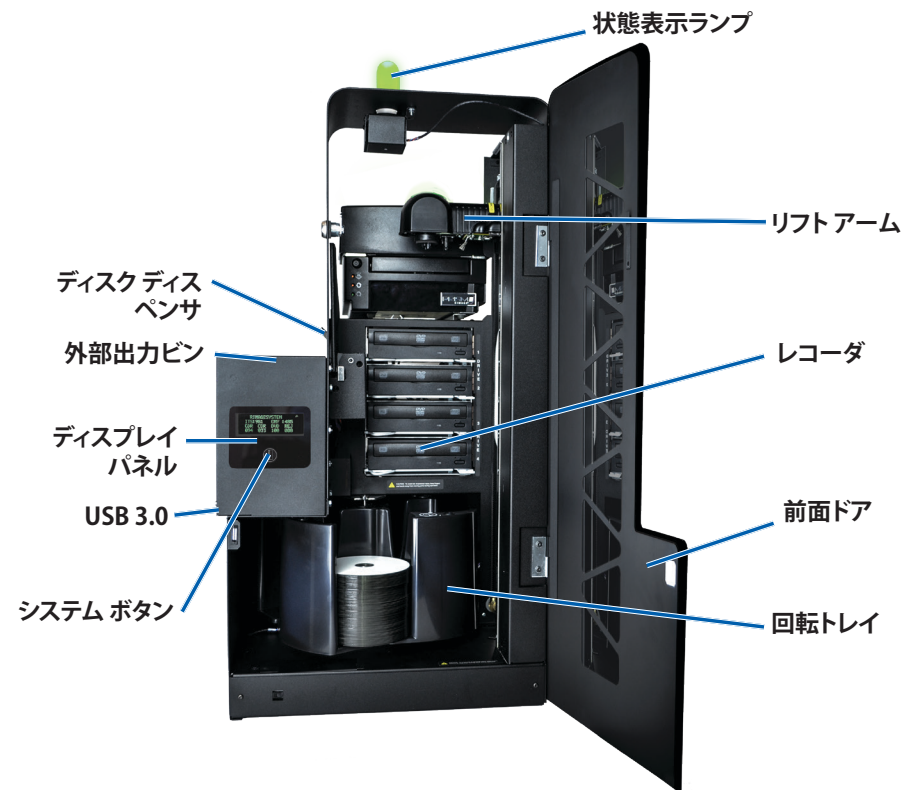
Producer V System の部品の確認

正面図

8300N



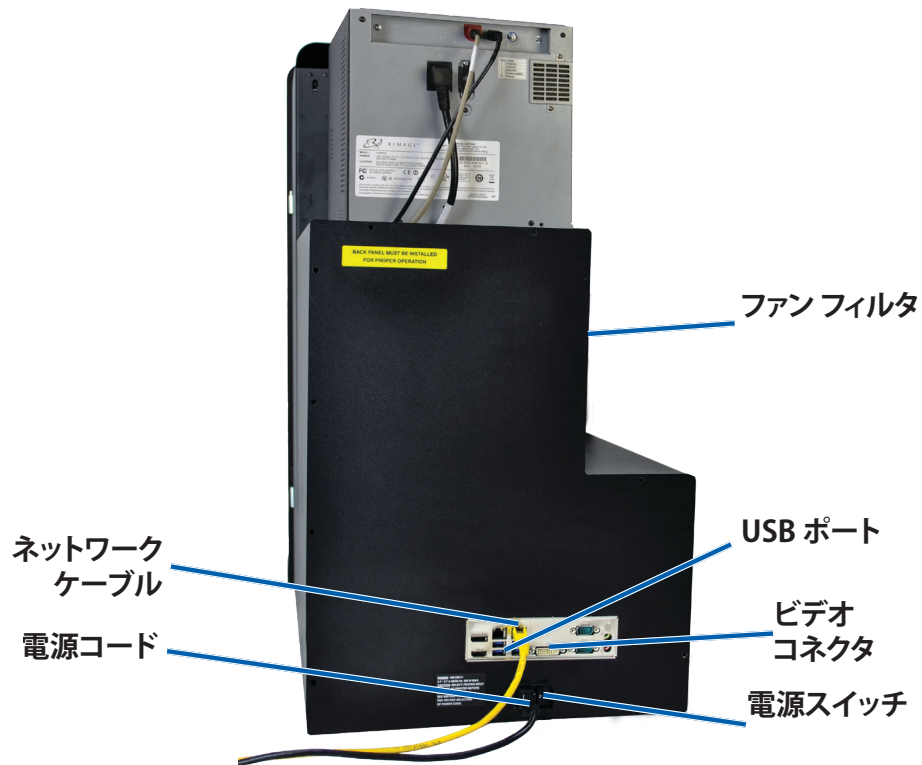
8300



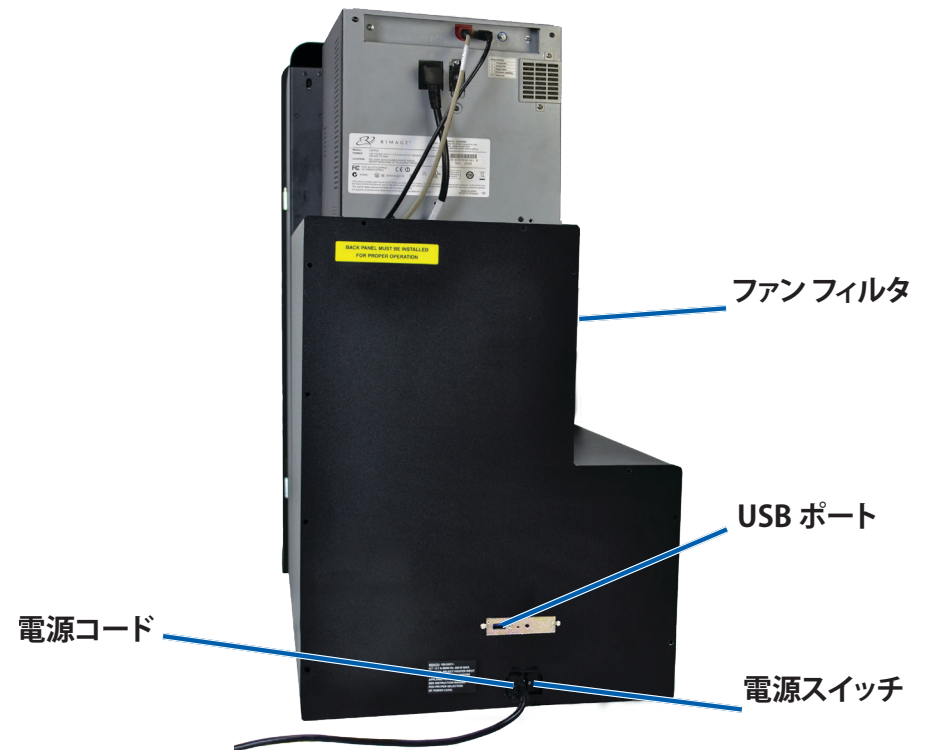
Producer V System の部品の確認

Everest® Encore Printer の背面図

8300N



8300

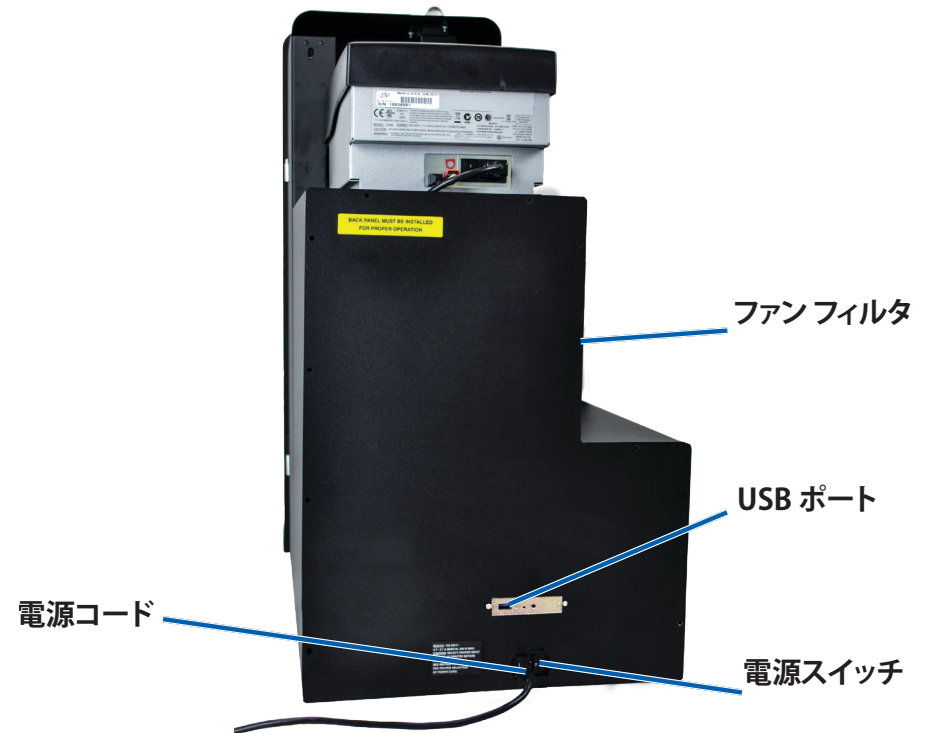
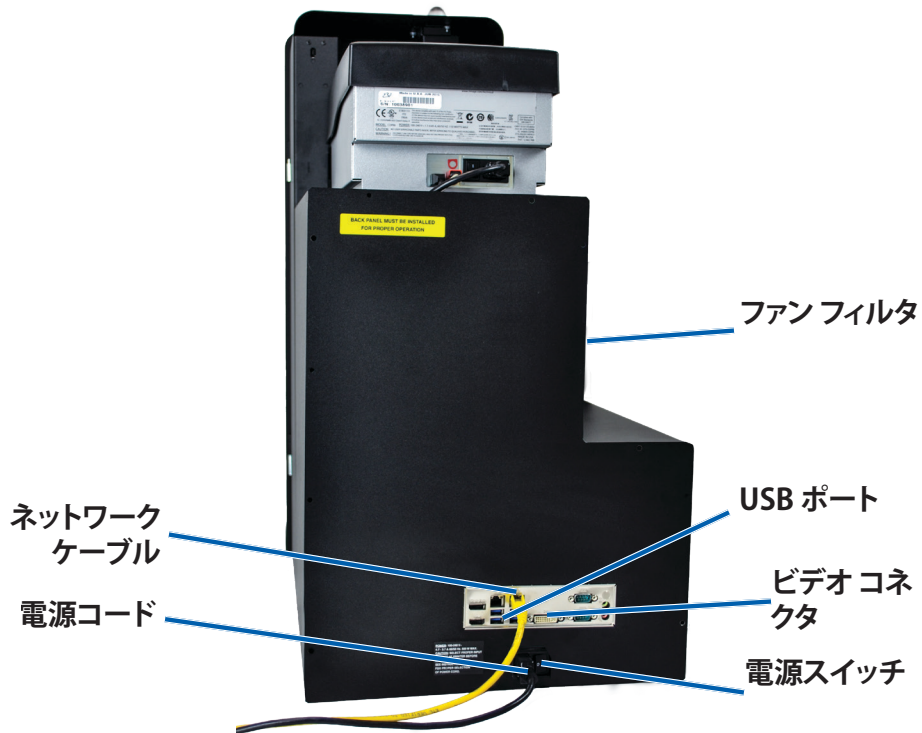


Producer V System の部品の確認

Prism™ Printer の背面図

8300N

8300








Producer V System の部品の確認

部品情報

DiscWatch™ 状態表示ランプ

Producer V システムには、さまざまな状態を表示する内蔵の状態表示ランプが装備されています。下表で、状態表示ランプの状態が示され、各状態によって示される状態が説明されています。

| ランプの状態 | | システムの状態 |
|---|---------|---|
|  | 緑色ライト点灯 | システムは正常に動作しています。現在、処理中のジョブはありません。 |
|  | 緑色ライト点滅 | システムは正常に動作しています。現在、ジョブの処理中です。 |
|  | 黄色ランプ点灯 | オートローダーは、ソフトウェアの起動を待機中です。 |
|  | 黄色ランプ点滅 | 前面ドアが開いている可能性があります。前面ドアを閉めて、ジョブを進行させます。 |
|  | 赤色ランプ点灯 | 回転トレイのブランク ディスクがなくなっています。供給ビンに適切な種類のメディアを入れます。 システム エラーで、オペレータの操作が必要です。クライアント ワークステーションまたはコントロール センターのメッセージを確認します。 回転トレイがないなど、起動時の機器エラー。クライアント ワークステーションまたはコントロール センターのメッセージを確認します。 |

ディスプレイ パネル

ディスプレイ パネルには、消耗品の状態も含めて、オペレータの介入を必要とする操作または条件を知らせる、4 行のディスプレイが付いています。4 行のディスプレイの内容:

- 行 1: システム名
- 行 2: ITS (転写リボン) カウントおよび CMY リボンのカウント
- 行 3: ビン設定
- 行 4: 各ビンのディスクの品質

初期設定の終了後は、Producer V システムに内蔵されている PC の名前を表示します。詳細を確認するには、13 ページの「[Gemini ユーティリティの操作](#)」のセクションを参照してください。

ヒント: ディスプレイ ペインの右上隅に表示されるキャレット記号「^」は、Rimage ソフトウェアがオートローダーと通信中であることを示します。

システム ボタン

システム ボタンを押して回転トレイを回転させ、ディスクの装着や取り外しができるようにビンの位置を合わせてください。システム ボタンを 1 回押すと、回転トレイは次のビンまで回転します。

ヒント: ソフトウェアがオートローダーの初期設定を完了した後、回転トレイはビンまで回転します。

ディスク ディスペンサ

ディスク ディスペンサは、ディスクを外部出力ビンに入れます。

警報器

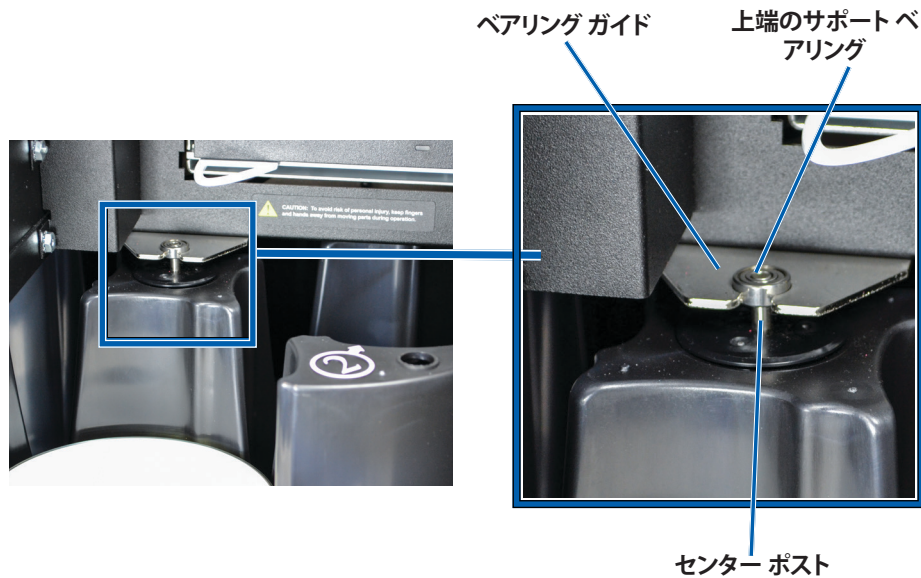
Producer V システムには警報器があり、ユーザーの対応が必要な場合に音を出して知らせる設定を有効にできます。ディスプレイ パネルまたは PC のモニタに表示されるエラー メッセージを確認し、問題を解決するために適切な操作を行ってください。警報器の設定のオプションについては、13 ページの「[警報器を有効にする](#)」のセクションを参照してください。

Producer V System の操作

回転トレイの設置

ヒント: エラーを防止するには、ソフトウェアの操作、またはオートローダーの電源をオンにする前に回転トレイを取り付けてください。

1. **前面ドア**を開きます。
2. Producer V システムに**回転トレイ**を設置します。
 - a. センター ポストがベアリング ガイドのスロット開口部を通してスライドするように、**回転トレイ**をまっすぐスライドさせます。
 - b. 上端のサポート ベアリングが、下がってベアリング ガイドに入るまで、**回転トレイ**を回転させます。
3. **前面ドア**を閉めます。



回転トレイの取り外し

ディスクの装着や取り出しには、回転トレイをオートローダーから取り外します。

1. ロボットの操作を一時停止するには、**前面ドア**を開きます。
2. **回転トレイ**の底を両手でつかみます。
3. 上端のサポート ベアリングがベアリング ガイドを通過するまで、**回転トレイ**を持ち上げます。
4. **回転トレイ**をオートローダーの外側へ動かします。

Producer V System の操作

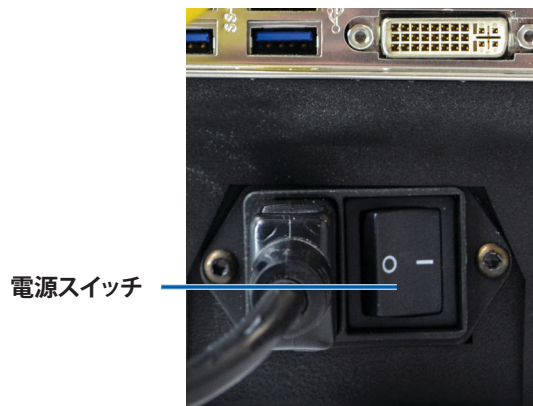
このセクションでは、Producer V システムでディスク制作の準備をする場合に必要な情報を説明します。

Producer V System の電源オン

はじめる前に:

システムの電源をオンにする前に、回転トレイを設置します。回転トレイの設置については、9 ページの「[回転トレイの設置](#)」セクションを参照してください。

1. オートローダー背面の**電源スイッチ**を押します。
 - Producer 8300 を使用している場合、システムの電源はオンになっています。
 - Producer 8300N を使用している場合は、ステップ 2 に進みます。
2. オートローダー前面の**PC 電源ボタン**を押して、内蔵 PC の電源をオンにします。オートローダーと内蔵 PC の電源がオンになります。



PC 電源ボタン
(8300N のみ)

Producer V System の電源オフ

- Producer 8300 の場合：
 - 開いているすべてのアプリケーションを閉じます。
 - オートローダーの背面にある**メインの電源スイッチ**を押して、Producer V システムの電源をオフにします。
- Producer 8300N の場合：
 - 開いているすべてのアプリケーションを閉じます。
 - Windows のスタートメニューからシャットダウンします。または、
 - Producer システムの前面にある **PC 電源ボタン**を押してすぐに離します。これでソフトウェア、Windows、内蔵 PC をシャットダウンします。

力 注意: PC 電源ボタンを押し続けしないでください。PC 電源ボタンを押し続けると、内蔵 PC が正しくシャットダウンされません。その場合、データの喪失や破壊が起こる場合があります。

注意: システムの電源がオフするまで、最大で 30 秒かかる場合があります。

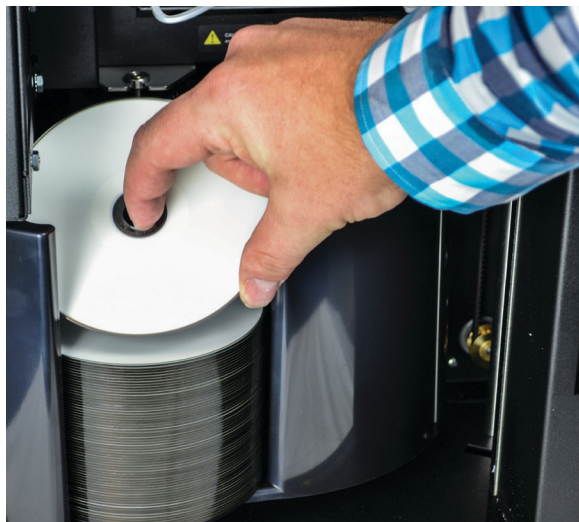
Producer V System の一時停止

1. 操作を一時停止するには、**前面ドア**を開きます。
2. ドアが開いている場合、安全のためロボットの作動を一時停止します。
3. 操作を再開するには、**前面ドア**を閉じます。

Producer V System の操作

ディスクの装着

ディスクは1つのビンに100枚まで装着できます。回転トレイを取り外してディスクを装着することも、以下の手順により各ビンにディスクを入れることもできます。



1. **前面ドア**を開きます。
2. **システム ボタン**を押して、回転トレイを回転させ、ディスクを装着できる位置にビンを移動させます。回転トレイは手動でも安全に回転させることができます。
3. 記録および/または印刷するディスクを100枚までビンに入れます。
 - デフォルトでは、DVD ベースのシステムのビンは、次のように設定されています：
ビン 1 = CD
ビン 2 = DVD
ビン 3 = DVD-DL
ビン 4 = Output/Reject
 - デフォルトでは、Blu-ray レコーダーのシステムのビンは、次のように設定されています：
ビン 1 = CD
ビン 2 = DVD
ビン 3 = BD
ビン 4 = Output/Reject

重要! ディスクは、記録する側を下向きにして入れます。

ヒント: ソフトウェアの設定により、ビン 1 からビン 4 を、入力、出力、却下または出力/却下および特定のメディアの種類のもれかに指定できます。

4. 目的のビンが一杯になるまで、**ステップ 2 から 3** を繰り返します。
5. **前面ドア**を閉めます。

ディスクの取り外し

1. **前面ドア**を開きます。
2. **システム ボタン**を押して、回転トレイを回転させ、ディスクを取り外せる位置にビンを移動させます。
3. **ディスク**をビンから取り出します。
4. 目的のビンが空になるまで、**ステップ 2 から 3** を繰り返します。
5. **前面ドア**を閉めます。

印刷環境設定

印刷環境を設定すると、Producer V システムで最高のディスク ラベルを作製するセットアップや実行が可能になります。それぞれの印刷環境設定の手順については、プリンタのユーザー ガイドを参照してください。

Producer V System のメンテナンス

このセクションの説明に従い、Producer V システムを最適な動作状態に維持するようにしてください。

概要

Producer IV の予防メンテナンスを定期的に行うことにより、Producer V システムによる正常なディスク記録や美しいラベルプリントが実現できます。メンテナンスでは、システムをクリーニングします。

注意: プリンタには独自のメンテナンス要件があります。詳細はプリンタのユーザー ガイドを参照してください。

注意事項

力 注意: メンテナンス時に Producer V システムの損傷を防ぐために、以下に注意してください。

- Producer V システムのどの部分にも、オイル、シリコン、他の潤滑剤を絶対に使用しないでください。
- Producer V システムの表面を拭く場合は、研磨剤入りのクリーナーを使用しないでください。
- 内蔵 PC の清掃にはクリーナーを使用しないでください。
- Producer V システムに直接クリーナーを付けないでください。そのかわり、まず布にクリーナーを付けます。
- 内蔵 PC を取り扱う場合は必ず静電気感性デバイスに関する注意事項に従ってください。

予防メンテナンス スケジュール

注記: システムを貯蔵庫や倉庫など埃の多い場所で使用している場合は、より頻繁なメンテナンスを行うことをお勧めします。

はじめる前に:

力 警告! 内蔵 PC を取り扱う場合は、必ずオートローダの電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

1. **Producer V system** の電源オフ。
2. **電源コード**をコンセントから抜きます。

重要! 以下に説明するメンテナンスのスケジュールが守られていないと、システムへの保証が無効になる場合があります。

| タスク | ツール | 頻度 |
|--|-------------------------------|----|
| リフトアームのシャフトを拭きます。以下の部分に注意してください: <ul style="list-style-type: none">• シャフトの基部のまわり• リフトアームのすぐ上の部分 | 糸くずの出ない布 | 毎週 |
| 以下の部分を含め、オートローダの全表面を拭きます: <ul style="list-style-type: none">• 側面と上端• ドア• 出力ビン• 回転トレイ• 基部 (先に回転トレイを取り外します)• リフトアームの上 | 糸くずの出ない布 研磨剤の入っていない万能クリーナー | 毎週 |
| システム側のエアフィルタをチェックして、必要であれば交換します。 | 不可 | 毎月 |
| オートローダの背面の開口部を点検します。必要であれば埃やごみを取り除きます。 回転トレイを取り外し、開口部から埃やごみを取り除きます。 | 掃除機 | 毎月 |

診断テスト

Producer V 診断テストを実行することで、システムに関する問題のトラブルシューティングを行い、適正な動作を確保できます。診断テストのアクセス、選択、実行の詳細情報は、www.rimage.com/support に収録されている『Producer V Perform Diagnostic Tests (Producer V 診断テストの実行)』を参照してください。

Gemini ユーティリティの操作

Rimage Software Suite には、Producer V システムの表示名を変更し、警報器の有効化を行うために使用する Gemini ユーティリティというアプリケーションが含まれています。

ヒント: Producer 8300N 用の Gemini ユーティリティにアクセスするには、ネットワークに接続されたパーソナルコンピュータからリモートデスクトップ接続を使用するか、または Producer 8300N にモニタ、マウス、キーボードを接続します。

注記: 特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 10 のパスを示しています。Windows 7 以外の Windows オペレーティングシステムのナビゲーションは多少異なる場合があります。

Gemini ユーティリティの開始

1. すべてのアプリケーションを閉じ、すべての Rimage サービスを終了します。

注記: 詳細情報は、Rimage Software オンラインヘルプを参照してください。

2. Windows の *Start* (スタート) メニューで All Apps > Rimage > Gemini Utilities (すべてのプログラム > Rimage > Gemini ユーティリティ) を選択します。Gemini ユーティリティが開きます。

注記: Gemini ユーティリティで目的の作業が完了したら、Rimage サービスを再始動することを忘れないでください。

オートローダの表示名の変更

Gemini ユーティリティを使用して、ディスプレイパネルに表示される名前を入力します。

1. **Override Name (名前の変更)** チェックボックスをオンにします。
2. **Use Computer Name (コンピュータ名を使用)** チェックボックスをオフにします。
3. *Display Name* (表示名) フィールドに新しい名前を入力します。
4. **Set Params (パラメータを設定)** を選択し、名前を設定します。
5. **Exit (終了)** を選択して、Gemini ユーティリティを閉じます。

警報器を有効にする

メディアがなくなった時やエラーが発生した時のビープ音の回数を変更することができます。

1. *# of Beeps on Fault* (警報数) フィールドで、エラー発生時に鳴らす警報の回数を選択します。

ヒント: 警報器を無効にするには、警報数をゼロに設定します。

2. **Set Params (パラメータを設定)** を選択し、警報数を設定します。
3. **Exit (終了)** を選択して、Gemini ユーティリティを閉じます。